

佐久市志 歴史編(一)原始・古代 目次

口絵写真

発刊のことば

監修にあたって

刊行にあたって

例言

序章 原始・古代の展望

自然環境と文化／佐久の自然と生活／遺跡と発掘調査

佐久市志刊行会長 三浦 大助
監 修 者 岩崎 卓也
佐久市志編纂委員長 木内 寛

第一編 原始時代

第一章 旧石器時代

第一節 旧石器時代のあらまし……………三

一 人類の進化と拡散……………三

人類の進化／氷河期を渡った人類

二 旧石器時代……………三〇

旧石器時代とは？／さまざまな旧石

器／石器づくりの技術／日本の旧石

器の変遷

三 旧石器時代の環境……………三三

氷期の動物たち／旧石器時代の原風

景／旧石器時代の火山活動

第二節 佐久の旧石器時代……………四五

一 佐久地方最古の遺跡……………四五

三万年前の遺跡／台形様石器／環状

のキャンプ

二 ナイフ形石器文化の展開……………五三

ナイフ形石器文化の遺跡／ナイフ形

石器とその変遷／三沢遺跡のナイフ

形石器群／二万数千年前のナイフ形

石器

三 尖頭器文化……………六三

尖頭器の発見／赤土の中から／尖頭

器文化

四 細石刃文化の遺跡……………六七

吹雪の中の発見／細石刃／細石刃文化の変遷／細石刃文化の流れ	
五 新時代への揺籃	七五

八風山のガラス質安山岩／尖頭器の集中製作跡／石槍製作工程の復元／神子柴・長者久保文化／最古の土器の発見

第三節 旧石器時代の暮らし

一 狩猟採集民のイメージ	八九
暮らしのイメージ	
二 狩りと採集の暮らし	九六
旧石器人のなりわい／狩り／漁撈の存否	
三 石材の獲得と石器の使用	九六
原石の入手／原石獲得戦略／石器を用いた作業	

四 住まいと暮らしの場	一〇三
-------------	-----

石器の分布／礫群と配石／住居／土坑

五 集団と社会	一〇〇
---------	-----

遊動生活／旧石器人の遊動領域／旧石器人の集団／最初の豊かな社会

第二章 佐久の縄文時代

第一節 縄文時代の幕開け	一一九
--------------	-----

一 縄文時代研究の歩み	一二九
二 縄文時代の自然環境	一三三
草創期から早期の環境／前期から中期の環境／後期から晩期の環境／季節の変化と年間カレンダー	

第二節 縄文時代の特色……………二六

一 縄文時代とは……………二六

二 縄文文化の起源……………二九

縄文文化の起源／最古の土器

第三節 道具の利用と発達……………二四

一 土器の出現と変遷……………二四

土器の出現／土器の変遷

二 石器の用途と発達……………二五

石器の分類／打製石器／磨製石器

三 その他の生活用具……………二九

木製品と骨製品／籠と敷物

第四節 縄文時代の生活と文化……………二五

一 草創期の環境と生活……………二五

縄文時代草創期／草創期の遺跡／岩

陸の生活

二 早期文化の発達……………二七

環境の変化／早期の住居／落とし

穴／文化の流入と発展／撚糸文系土

器文化の影響／押型文土器文化の発

展／押型文土器文化の分布／沈線文

土器文化の影響／早期最終末の土器

群

三 前期の文化の展開……………二七

前期の自然と文化／住居の移り変わ

り／集落とまつり／繊維土器と無織

維土器／平底土器の発達／竹管を用

いた土器群／前期最終末の土器群／

中期文化の萌芽

四 中期文化の発展……………二八

最盛期の遺跡群／住居の構造／狩

猟／漁撈／採集／植物栽培／衣

服と装身具／呪術と祭祀／墓と集落／他地域との交流
 五 後・晩期文化の変容……………三六

平地への進出／敷石住居の増加／生業の変化／新しい呪術と祭祀

第三章 佐久の弥生時代

第一節 日本列島の弥生時代……………三七

一 稲作の開始……………三七

世界の稲作文化／日本の稲作伝播／

稲作の東進／日本海岸ルートでの弥生

文化／弥生時代の水田経営

二 用具の発達とその技術……………四六

弥生初期の土器／地域色の出現／地

域色ここに究まる／金属器の使用／

青銅器、武器から祭器へ／鉄器、優秀な農耕具の出現／多彩な木製品／その他の木製品

三 階級の発生と人びとの墓……………五九

壺棺墓・土壙墓／支石墓・箱式石棺

墓・甕棺墓／木棺墓／方形周溝墓・方

形台状墓／地域社会の拡大／精神生

活

第二節 弥生文化の佐久平への浸透と発展……………六七

一 浸透期の遺跡……………六七

ムラと住まい／土器の変化／洗骨

葬・再葬墓の流行／木棺墓

二 発展期の遺跡……………七三

集落と住まい／生産域はどこか／粟

林式土器／その他の生活用具／発展

期の墓制

三 最盛期の集落と生活……………三二

集落／住まい／道具／土器／生

産技術と食生活／「赤い土器」の文

化

四 最盛期の墓制……………三二

土壙墓／周溝墓／屋内埋葬墓／集落

と墓

五 終末期の集落と生活……………三二

集落と住まい／土器の動き／土器の

移動／土器の動きと初期古墳／終末

期の墓制

第三節 佐久の弥生時代の繁栄……………三九

一 弥生時代遺跡の分布……………三七

浸透期／発展期と繁栄期／日本最高

地点の弥生文化

二 佐久の弥生時代の繁栄……………三七

千曲川右岸・左岸の地域相／集落の変

化／継続型拠点集落の不存／集落規

模の推移／集落の実像／竪穴住居の

変遷／環濠集落・高地性集落につい

て／生産遺跡／墓制／食文化／衣

文化

第二編 古代

第四章 佐久の古墳時代

第一節 古墳時代のすがた……………三七

一 古墳の出現と変遷……………三七

出現期の古墳と前期古墳／巨大古墳

の造営／後期古墳と群集墳

二 古墳と副葬品……………三八

墳丘と埋葬施設の推移／副葬品

第二節 古墳の築造……………三八九

一 前期の古墳……………三八九

瀧の峰一号古墳／瀧の峰二号古墳

二 中期の古墳……………三九五

北西ノ久保古墳群／北西ノ久保古墳

群の埴輪

三 後期と終末期の古墳……………四〇一

古墳と土壙墓／六世紀後半の大型古

墳／自然丘頂上の古墳／集落付近に

造られた古墳／終末期の古墳／渡来

人と牧

第三節 集落と生活……………四二四

一 ムラのようす……………四二四

(二) ムラの広がり

弥生農村の解体と前期古墳社会への

変貌／周辺地域のムラづくり／山

- 上・高冷地のムラ／古墳時代中期の
中心部への回帰／古墳時代後期にお
ける集落の急増
- (一) 住居のつくり
炉からカマドへ／住居のつくり
- (二) ムラのようにす
古墳時代のムラ／ムラの構造
- (四) ムラの耕地
水田と畑／くらしの中の祭祀
- (五) 居館と寺
現われた居館／寺院の草創
- 二 暮らしのようす……………四九九
- 食器の用途と変化／炭になって残つ
た食料／木器と石器
- 三 須恵器の生産と製炭……………四五六
- 須恵器生産のはじまり／木炭窯と鉄
の生産

第四節 佐久の古墳と集落……………四六〇

- 一 ムラとムラの古墳……………四六〇
- 鋳師屋遺跡群と下前田原古墳群／北
西ノ久保古墳群
- 二 古墳と伝承……………四六三

第五章 佐久の奈良・平安時代

第一節 律令制社会と佐久……………四六九

- 一 佐久郡の成立……………四六九
- 国郡郷(里)制／佐久郡の郷／国司
と郡司／信濃国の郡司／佐久郡の郡
司／佐久郡の定額寺／佐久の郡衙
- 二 東山道と佐久……………五〇〇
- 初期の東山道と佐久／延喜の官道と

佐久／東信地方の東山道／駅の構成
と運営／駅家の組織と運営／佐久の
伝馬

三 佐久の牧……………五三

馬に乗った有力者と牧／佐久の官
牧／貢馬／中世の御牧と駒牽／豪族
の私牧

第二節 律令制社会の変貌と佐久……………五〇

一 古代豪族と新興豪族……………五〇

律令制度の変化と佐久／新興豪族の
出現と佐久地域／平将門の乱／信濃
国分寺付近の戦いと他田真樹

二 佐久の公領と荘園……………五五

新しい荘園と郷／佐久の荘園と郷と
牧

三 古代の災害と生活……………五五

佐久と水害／仁和の災害と佐久／仁
和の記事の再検討／浅間山と佐久／
噴火と災害／冷害と佐久／各種の災
害

第三節 集落と生活……………五九

一 住まいのようす……………五九

暮らしのようす／竪穴住居のつく
り／住居内の場／カマドのつくり／
竪穴住居の新築／堀建柱建物

二 ムラのようす……………五九

ムラのすがた／ムラの中の施設／ム
ラの成立と消滅／平安時代の一軒屋

三 ムラと住民……………五七

佐久郡の郷と住民／古代の戸籍と家
族

四 暮らしのようす……………五二

食生活／食器のいろいろ／道具が語る暮らし／さまざまな文物

五 墳墓……………六〇八

休石遺跡

第四節 古代人の信仰……………六二

一 自然崇拜……………六二

霊信仰／初詣と正月／樹木崇拜／土

(土地)への信仰／神体としての山

岳／湿原祭祀

二 遺跡が語る古代の信仰……………六九

竈神信仰／遺物が語る信仰

三 神社と寺……………六三

式内社／定額寺／天台宗・真言宗

佐久市遺跡一覧表

佐久市志関係者名簿

佐久市志刊行会

佐久市志運営委員会

佐久市志監修者名簿

歴史編(-)原始・古代 編纂関係者名簿

佐久市志刊行会事務局(編纂室)

佐久市教育委員会事務局(佐久市志関係)

付図(袋入れ) 佐久市遺跡分布図

編集後記 佐久市志編纂委員長 木内

寛